

平成 30 年度 事業報告書
平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

○ 事業概要

小野市シルバー人材センターは、昭和 61 年 2 月に産声をあげ、6 月に社団法人加西市・小野市広域シルバー人材センターとなりました。平成 17 年 4 月 1 日に広域から単独の社団法人として出発し、平成 24 年 4 月 1 日に公益社団法人へと移行し現在に至っています。

センターは、一般家庭や民間企業、公共団体等から高齢者にふさわしい仕事を受注し、会員の希望と能力に応じたものを紹介、高齢者である会員に社会参加の機会と生きがいを与え、地域社会に貢献することを目的としています。

現在、小野市における高齢化状況は、平成 31 年 3 月末 60 歳以上人口では 16,488 人、対人口比率で 34.0%、高齢化率（65 歳以上人口比率）は対象人口 13,574 人で 28.0%に達していますが、健康で働く意欲のある高齢者は年々増加する傾向にあり、当センターにおいてもこれらの人々の期待に応えるべく、その使命を果たさなければならない状況下にあります。

さて、小野市では「夢」、「子ども」、「高齢者」をキーワードに①「人生 100 年時代を見据えた高齢者活躍の推進」、②「子育て支援・教育環境の充実」、③「安全・安心の確保」、④「新たな拠点整備と都市基盤の充実」の 4 本の柱で事業展開されておりますが、当センターも「元気な高齢者の活躍の場」として、その一翼を担い、生涯現役社会の実現を目指してまいりました。

平成 30 年度事業実績は、受託事業契約金額 284,641,682 円、派遣事業契約額 24,601,607 円、合計 309,243,289 円となっており、昨年度を 3.9%上回った結果となりました。

会員数につきましては、3 月末時点で 549 の方が入会されており、就業実人員は 548 人、年間就業率は 99.8%となりました。

以下、平成 30 年度の主な事業実施状況を報告いたします。

○ 実 施 状 況

1. 高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供（公 1）

（1）広報媒体の作成・配布等

- ① 小野市の広報誌 31 年 3 月号にシルバー情報を掲載していただきました。
- ② 平成 16 年度から開設したシルバーホームページを、平成 30 年度も更新し 1 年間を通して情報提供を実施しました。
- ③ 会報第 29 号、30 号として「シルバーだより おの」を発刊し、会員への配布及び市内公共機関の窓口でのシルバー情報の提供を実施しました。
- ④ 全シ協、兵シ協、兵庫県等から提供された広報媒体を、会員への増刷り配布、公共施設への配備を実施しました。

⑤ 広報委員会を9月27日、3月5日の2回開催しました。

(2) 公共機関等の行う各種イベントでの普及宣伝活動

- ① 毎週日曜日に、ひまわりの丘公園内の「匠の里・シルバー刃とぎ館」において刃とぎを継続して実施、シルバーの広告塔としての宣伝活動を行いました。
- ② 兵庫県シルバー人材センター事業推進大会において女性会員4名が作成した手芸品の展示販売を行いました。

2. 高齢者の就業に関する調査及び研究（公1）

- (1) 兵庫県内のシルバー活動・事業情報を、兵シ協等主催の各種研修会に参加して見識を高め、当シルバーの事業展開に活用しました。

3. 会員の拡大と就業相談会等の実施（公1）

- (1) 厚生労働省委託事業のひょうご生涯現役促進事業で高齢者就労相談窓口を10月に開設し高齢者の就労をサポートしました。

- (2) 市のシニア活躍推進課と連携し、区長便等をとおして会員募集等チラシを配布し会員拡大を図りました。

- (3) 平成31年3月31日現在の会員数は549人となりました。平成17年度～30年度の間の子員の入会及び退会の動向は下表のとおりです。

区 分	会 員 数 (人)			入会者数 (人)			退会者数 (人)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
17年度末	298	137	435	27	25	52	22	20	42
18年度末	328	161	489	53	45	98	23	21	44
19年度末	358	170	528	62	28	90	32	19	51
20年度末	387	199	586	74	42	116	45	13	58
21年度末	418	217	635	89	42	131	58	24	82
22年度末	429	223	652	69	30	99	58	24	82
23年度末	408	222	630	63	40	103	84	41	125
24年度末	432	211	643	69	30	99	45	41	86
25年度末	424	214	638	50	31	81	58	28	86
26年度末	431	218	649	49	27	76	42	23	65
27年度末	410	210	620	36	22	58	57	30	87
28年度末	408	219	627	32	21	53	34	12	46
29年度末	379	190	569	49	18	67	78	47	125
30年度末	372	177	549	46	15	61	53	28	81

(3) 平成30年度末の会員の地域別状況は下表のとおりです。

地域区分	地域コード	会員数(人)		
		男	女	計
小野 地区	0100	41	36	77
小野東地区	0110	84	35	119
河合 地区	0200	48	17	65
来住 地区	0300	32	14	46
市場 地区	0310	74	32	106
大部 地区	0400	41	20	61
下東条地区	0500	48	20	68
市 外	0600	4	3	7
計		372	177	549

(4) シルバー会員証の交付

会員の身分証明と自己責任の認識及び安全就業の心得の自覚を目的として、平成30年度入会会員61人に会員証を交付しました。

(5) 新入会員入会説明会等の開催

平成24年11月から、会員確保の観点から入会説明会を月2回のペースで開催してきました。本年度参加いただいた方は86人、その内、新規会員として49人の方を登録しました。

説明会は下記の内容で実施したところです。

- DVDビデオ視聴、「会員のしおり」によるシルバー人材センターの仕組みの研修
- 安全・適正就業についての研修
- (公社)小野市シルバー人材センターの事業概要説明

4. 高齢者に対する臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く。）又はその他の軽易な業務にかかる就業機会（雇用によるものを除く。）の確保及び提供（公1）

(1) 事業実績の概要（受託事業）

- ① 会員数 549人
- ② 就業実人員 504人
- ③ 就業延人員 60,922人日
- ④ 受注件数 2,099件
- ⑤ 契約金額 284,641,682円
- ⑥ 配分金 249,534,768円（会員1人当平均額495,109円）

(2) 事業実績の職種別内訳 (受託事業)

区 分	内 容	受注 件数	延人員 (人日)	契約金額 (円)
技 術	ホークリフト運転等	4	2,612	14,190,824
技 能	剪定・大工・塗装等	854	3,629	30,498,552
事 務	筆耕・事務整理	29	105	381,764
管理・監視	施設管理等	20	8,962	45,224,169
折衝外交	配達・集金・文書配布等	3	127	587,500
一般作業	軽作業・補助作業・除草等	1,187	43,848	188,916,640
サービス	家事援助・社会活動等	56	1,639	4,842,233
合 計		2,099	60,922	284,641,682

(3) 事業実績の公共・民間別内訳 (受託事業)

区 分	内 容	受注 件数	延人員 (人日)	契約金額 (円)
公共事業	施設管理・清掃等	130	9,538	46,489,119
民 間	企業・家庭 軽作業・除草・清掃 剪定等	1,968	51,230	237,468,663
	独自事業 刃研ぎ	1	154	683,900
合 計		2,099	60,922	284,641,682

(4) 事業実績の動向 (受託事業・平成 25 年度～平成 30 年度)

区 分	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
会 員 数 (人)	638	649	620	627	569	546
就業実人員 (人)	547	551	539	533	520	548
就業延人員 (人日)	62,768	63,905	65,338	65,666	63,331	504
受注 件数 (件)	3,922	3,995	1,900	1,996	1,881	2,099
契 約 金 額 (千円)	279,108	284,551	288,930	290,254	278,843	284,642
配 分 金 (千円)	249,362	253,155	257,706	258,196	247,088	249,535
1人当配分金 (円)	455,871	459,447	478,119	484,420	475,169	495,109

(5) 就業開拓事業の推進

国庫補助対象事業として就業機会の創出事業が平成 22 年度をもって打ち切りとなったため、当センター独自に就業機会開拓員 1 名を配置し、年間約 176 日の就業開拓活動等を実施しました。主な活動内容は、シルバー広報媒体の配布を伴う市内事業所・家庭の訪問件数は 5,500 件、個別対話件数 3,000 件、新たな受注確保件数は 138 件（見込み件数含む。）となっています。市内におけるシルバー事業の広報宣伝にも繋がったところです。

5. 有料職業紹介事業の実施について

シルバーワークプラザ内に有料職業紹介コーナーを設け実施したところ、1 件の求人申し込みがあり会員を紹介しました。

6. 高齢者に対する臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必

要な知識及び技能の付与を目的とした講習会・研修会等の開催（公1）

(1) 剪定講習会の開催

本年度も昨年度に引き続き、剪定分野での就業を希望されている方に会員登録をしてもらい、剪定講習会を受講してもらいました。今回から「会員の会員による会員のための講習会」を合言葉に講師に会員の小堀博美氏を迎えて実施し、講習会参加者は17人となりました。同講習会は、3月25日から27日にかけて3日間実施しました。講習会初日の午後から翌日の午前中にかけてシルバーワークプラザ会議室で講義を行い、その後、25日までは共進舎牧農園で実技指導を実施しました。

(2) 草刈り・チェーンソー講習会の開催

4月26日、午後1時30分から共進牧場内で実技研修を開催、刈払機及びチェーンソーの構造と取扱い等について講習。受講会員は13人でした。

(3) 清掃講習会の開催

2月5日、午前と午後の部に分けてコミセンいちば内で、清掃作業効率と技術向上のため清掃講習会を実施、受講会員は11人でした。

7. 安全・適正就業対策の推進（公1）

① 平成30年度安全・適正就業委員会を7月19日、10月17日、3月20日の3回にわたって開催

- ・職群班等・適正就業体制を確立
- ・安全適正就業推進活動計画の策定
- ・全シ協、兵シ協、小野市SCの事故状況の把握と対策協議
- ・安全パトロール状況の把握と対策協議

② 草刈班、剪定班の打合せ会の開催と協議の実施

- ・草刈班は5月30日、8月31日、9月28日、12月6日、2月19日の5回開催
- ・剪定班は5月29日、12月7日、2月18日の3回開催
- ・班編成の確立
- ・安全就業留意事項の徹底と意見交換
- ・3月25日兵シ協茶園アドバイザーによる安全教育を実施

③ 安全グッズの整備

- ・年2回安全グッズの棚卸を実施し品目確認
- ・ヘルメット、安全帯、防御ネット等必要グッズを補充
- ・虫刺され対応蜂スプレーを常備し、剪定・草刈り就業に備えた

④ 安全・適正就業パトロール

- ・安全パトロール、7月13日、11月13日、2月25日の3回実施
草刈り、剪定、立木伐採現場をパトロールし、安全グッズの着用状況等をチェックし、危険な就業には是正勧告を実施、また、会社等の就業現場をパトロールし、危険な就業、混在就業による指揮命令存在の疑義等の確認と安全対策を図るよう申し入れ改善に努めた。
- ・厚生労働省・全シ協が作成した「適正就業ガイドライン」を説明し適正就業を推進しました。

- ⑤ シルバーリーダースクール（交通安全講習会・11月16日開催）への参加
平成20年度から続く第11年次の取組みとして、小野市交通安全協会が主催する講習会へ参加する形で会員の平成30年度交通安全講習会を開催。小野自動車教習所において、座学研修は悪条件下での夜間運転、速度と停止距離の関係など、実車研修では、教官同乗のもとコースを試走し採点していただきました。

また、サポカーの運転体験など運転技術の再点検をするとともに安全運転の大切さを学びました。当日の参加会員は15名でした。参加会員一同、地域において高齢者に対する積極的な交通安全啓発活動に努めたいと、決意を新たにしましたところ。

⑥ 安全・適正就業推進員の配置

平成30年度も引続いて安全・適正就業推進員を配置し、安全・適正就業対策を推進しました。特に今年度は就業中の事故が多発したため、その対策に努めました。また、「安全就業・適正就業だより」を毎月発行し注意を喚起しました。

- ⑦ 会員の就業の際の万一の事故や傷害、他者への損害賠償、シルバー事業の安全確保のため、平成30年度もシルバー保険に加入し、そのリスク補償に備えました。

なお、平成17年度～平成30年度の傷害事故・賠償事故等の保険事故件数等の状況は下記のとおりです。

〔年次別傷害・賠償事故件数等、事案最終時点でカウント〕

年度	就業中	往復経路	入院日数	通院日数	身体賠償	財物賠償	動産保険
17	12	0	38	50	0	0	0
18	10	2	31	173	0	2	0
19	14	3	4	92	0	2	1
20	14	2	42	159	1	4	0
21	10	1	48	138	0	4	0
22	9	1	0	142	0	5	0
23	8	0	65	35	0	2	0
24	5	1	94	24	0	10	0
25	4	2	0	45	0	2	0
26	9	0	21	33	1	3	0
27	7	0	307	48	0	2	0
28	7	1	53	38	0	4	0
29	3	0	0	19	0	3	0
30	4	1	325	11	0	6	0

8. 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施状況（公1）

シルバー人材センターでの「適正な就業」を推進するため、平成20年5月から（社）兵庫県シルバー人材センター協会（兵シ協）において労働者派遣事業が実施されました。当センターにおいても兵庫労働局への届出により、兵シ協の小野市事務所として平成20年12月18日から派遣事業を実施しています。

平成 20 年度～平成 30 年度の小野市事務所での派遣事業の事業実績は次表のとおりです。

(単位:人・円)

年 度	受注 件数	就業 人員	延べ 人員	賃 金	手数料	消費税	契約金額	委託料
20	5	3	74	198,875	39,775	11,931	250,581	25,200
21	155	40	5,475	19,805,230	3,486,614	1,134,768	24,426,612	2,382,450
22	123	38	4,993	16,501,490	3,020,752	971,422	20,493,664	1,980,300
23	63	26	2,116	6,604,884	1,166,049	386,499	8,157,432	582,750
24	105	55	5,732	24,597,888	3,649,281	1,341,574	29,588,743	2,116,800
25	149	46	4,651	18,475,719	3,162,011	1,081,846	22,719,576	1,845,900
26	161	41	4,360	18,791,557	3,282,332	1,758,182	23,832,071	2,093,040
27	22	15	2,727	10,231,859	2,016,598	969,123	13,217,580	1,173,960
28	27	30	2,804	12,314,237	2,423,767	1,162,109	15,900,113	1,540,080
29	40	36	3,438	14,861,667	2,448,343	1,374,802	18,684,812	1,707,480
30	64	44	4,358	19,412,257	3,380,369	1,808,981	24,601,607	2,505,600

※ 受託事業と派遣事業を合わせた事業実績のまとめ

派遣事業は事業主体である兵シ協の小野市事務所としての委託事業であるため、当センターの公益法人会計の収支計算書上、当該契約金額は現れてきません。従って、受託事業と派遣事業を合わせた事業実績を下表にまとめています。

年度	契 約 金 額			就業実人員	就業延人員
	受託事業 (円)	派遣事業 (円)	合 計 (円)		
20	352,821,675	250,581	353,072,256	539 人	74,322 人日
21	323,745,319	24,426,612	348,171,931	600 人	74,836 人日
22	291,976,749	20,493,664	312,470,413	586 人	70,070 人日
23	293,429,611	8,157,432	301,587,043	570 人	67,374 人日
24	282,918,229	29,588,743	312,506,972	598 人	68,767 人日
25	279,107,616	22,719,576	301,827,192	593 人	67,419 人日
26	284,550,906	23,832,071	308,382,977	592 人	68,265 人日
27	288,929,797	13,217,580	302,147,377	554 人	68,065 人日
28	290,254,127	15,900,113	306,154,240	563 人	68,470 人日
29	278,842,603	18,684,812	297,527,415	556 人	66,769 人日
30	284,641,682	24,601,607	309,243,289	548 人	65,280 人日

9. 事務処理の集中化の推進 (公 1)

(公社) 兵庫県シルバー人材センター協会及び兵庫県下 10 センターが共通する事務について、その処理の集中化を実施しました。今後も引き続き多くのセンターの参加と、事務の効率化、事務処理の水準の引き上げに向けた取り組みを推進していきます。

10. 独自事業の推進（公1）

（1）「匠の里・シルバー刃とぎ館」の開設

金物製造の街のイメージを高め、シルバー事業の地域における周知を図り、家庭用刃物の再生、匠の技を持つ会員への新たな就業機会の提供を目的に、平成18年11月から、ひまわりの丘公園内で「匠の里・シルバー刃とぎ館」を開設し、平成30年度も毎週日曜日午前9時から午後1時までの時間帯で継続事業として実施しました。本年度の事業への参加会員は、とぎと受付会員を含め8名、延べ154人日でした。

平成30年度も、小野市くらしの会から受付管理応援事業として、延べ6回、12名のスタッフのご参加をいただきました。

平成19年度から平成30年度までの事業実績は下表のとおりです。

年度区分	発注者数 (人)	発注丁数 (丁)	研ぎ料金 (円)	延べ就業 (人日)
平成19年度	462	1,093	600,650	163
平成20年度	516	1,206	657,800	160
平成21年度	588	1,328	712,100	160
平成22年度	596	1,304	685,500	153
平成23年度	611	1,441	768,300	160
平成24年度	623	1,379	725,200	184
平成25年度	654	1,523	807,900	165
平成26年度	709	1,723	926,000	163
平成27年度	746	1,569	841,000	161
平成28年度	721	1,574	846,000	154
平成29年度	649	1,461	776,600	159
平成30年度	595	1,261	683,900	154

（2）剪定枝葉チップ化・自然還元・循環型社会構築事業の取組み

当センターが受託した剪定業務にかかる当該剪定枝葉の処分については、野焼きの禁止措置、CO₂削減問題等の課題を受けての懸案事項であり、平成19年5月にはセンターの第一次中期計画における研究・検討課題として位置づけ、議論の積上げを実施してきたところですが、平成20年度における高年齢者就業機会確保事業費補助金の企画提案方式事業における「環境・教育」分野の補助事業として、「剪定枝葉チップ化・自然還元・循環型社会構築事業」が採択され、小野市当局の支援を受けて当該事業を構築することができました。しかし、平成25年度からは独自事業としての事業構築・稼働となりました。

平成 20 年度～平成 30 年度事業実績は下表のとおりです。

(車数は軽四輪トラック換算)

区分 / 年度	会員 就業 日数	延べ 就業 人日	延べ 就業 時間	破碎 発注 者	破碎 受入 車数	破碎 推定 重量	チップ 排 出 車 数	訪問チップ化事業			
								受託 件数	就業 人日	延べ 時間	概算 処理 量
								戸数	人日	時間	車数
20	25	153	795	50	120	18	30	※	※	※	※
21	274	635	3,939	383	904	136	262	20	57	219	91
22	250	551	3,497	364	752	113	242	9	18	13	10
23	234	514	3,455	436	1,036	155	256	6	12	9	8
24	207	538	3,407.5	541	867	130	236	5	10	13	5
25	197	320	2,070.5	482	674	61	108	5	8	16	5
26	102	163	1,069	301	409	33	100	1	2	3	1
27	170	257	1,522.5	434	584	53	115	0	0	0	0
28	175	267	1,687.5	691	912	76	105	0	0	0	0
29	195	350	2,116.5	502	940	71	126	0	0	0	0
30	222	386	2,127.5	649	1,132	75	177	0	0	0	0

平成 30 年度の上記当該チップ 177 車の活用排出先は、市内公園敷設関係 99 車、桜づつみ回廊敷設利用等 7 車、市民の皆さんへ無料で提供した分が 71 車でした。継続してチップを敷設したところでは、雑草の抑制、乾燥防止、土壌改良に繋がり、植物の生育にとっても良い環境を提供できています。

11. 会員組織の整備 (他 1)

地域班設置規程に基づき地域班をまとめ地区長体制を推進することができ、会員の福利厚生事業活動推進の中心に中長期計画の推進にも活躍していただきました。

12. シルバー会員の親睦と連帯意識の高揚に繋がる事業の展開 (他 1)

① 福利厚生委員会を 8 月 29 日と 3 月 20 日の 2 回開催しました。

② 会員親睦日帰り旅行を 11 月 4 日 (日) に実施しました。

行き先は滋賀県琵琶湖畔・比叡山方面、近江神宮と延暦寺を参拝しました。

昼食は雄琴温泉雄山荘で行い、会員交流・親睦の場となり、明日への英気を養いました。併せて、喜寿のお祝い (該当会員 46 名) を当日参加の 6 名に理事長から渡され、参加者全員でお祝いをしました。

なお、当日の参加者は 87 名 (バス 2 台) でした。

③ 第 8 回理事長杯争奪グラウンドゴルフ大会の開催

11 月 21 日午後 1 時から、こだまの森・グラウンドゴルフコースにおいて、第

8 回理事長杯争奪グラウンドゴルフ大会を開催しました。

当日は、38 名の会員が技を競い合い、和気あいあいの中で会員相互の交流を深めることができました。

④ 第 8 回環境保全・ボランティア活動の実施

「あなたも是非ご参加を！！」「環境保全・ボランティア活動」をスローガンに、3 月 17 日（日）午前 10 時から 12 時までの 2 時間実施しました。

・加古川左岸の「桜つつみ回廊」でのゴミ拾いに 29 名の会員

・国道 175 号線下「山田の里公園」でのゴミ拾いには 37 名の会員

合計 66 名が参加、軽四輪トラック 2 台に山盛りのゴミを収集、桜の開花直前の清掃作業となり、当該周辺の環境美化に貢献することができました。

また、今年から小野市のボランティア事業所として登録し、これらの活動がアクティブポイント対象事業となり、参加会員にはポイントシールを渡しました。

13. 小野市シルバー人材センター中長期計画の推進（法人）

9 月 14 日と 3 月 8 日の 2 回開催しました。前期 5 か年計画の総括とそれに基づき後期 5 か年計画を策定し目標達成に向け取り組みました。

14. 公益社団法人としての機関確保事業の実施（法人）

① 平成 30 年度定時総会を 5 月 26 日に開催いたしました。

② 事業推進の要として、理事会を 5 回（4 月・7 月・10 月・1 月・3 月）開催いたしました。

③ 公益法人業務の適正化を図るため 4 月と 11 月に監査を受けました。

④ 総務財政委員会を 11 月 29 日と 3 月 13 日の 2 回開催しました。

⑤ 「会員等の顕彰に関する規程」に基づき、会員の 20 年表彰 1 名、10 年表彰 15 名を定時総会で行いました。

⑥ 兵庫県シルバー人材センター事業推進大会において兵シ協会長から会員が表彰されました。（会員期間 15 年 19 名）

15. 事業及び会計処理の適正処理の実施（法人）

公益法人会計基準に基づいた会計処理の適正実施を確保するため、公認会計士事務所の指導を受ける体制を引続き確立し、4 月 23 日、11 月 7 日、2 月 25 日に受けました。

16. 「シルバーワークプラザ」の活用について（公 1・法人）

会員相互の交流、研修、作業場等として、当センター事業の展開にとって必要な、「シルバーワークプラザ」で会員の絵画、工芸品等の展示及び一般の方から写真を展示して頂きました。また、会員が趣味の手芸教室を開き市民の参加をはじめ多くの皆さんの交流の場となり、加えて理事会、専門部会、説明会、研修会、また、小野市老人クラブ連合会の打合せ等 100 回以上開催し、2,000 人を上回る市民の方々や会員が利活用しました。